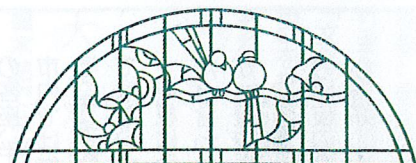


和日館木槿

しゅもくかんびより ◆ 第七号



文化のみち槿木館
Cultural Path Shumokukan

発行日: 2013年 3月 27日

発行: 文化のみち槿木館

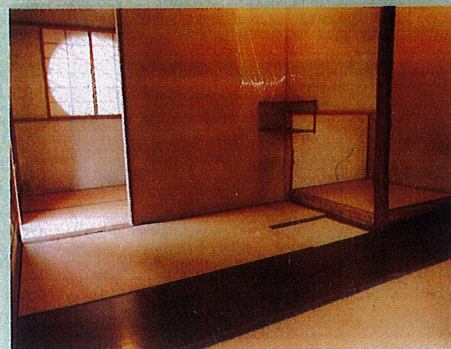
指定管理者: 特定非営利活動法人槿木倶楽部



昭和初期頃、井元邸（現在の槿木館）に移築されたと伝えられている。
中板向切の構えは大変珍しいとされ、
元々は幕末の建築であるともいわれている。
「撫松」とは、2代目当主、井元松蔵氏の茶号。
春から初夏にかけて紫蘭（しらん）や著莪（しゃが）の花が咲く
庭園内にある茶室は、貸室として利用可能。

茶室 撫松庵（ぶしょうあん）

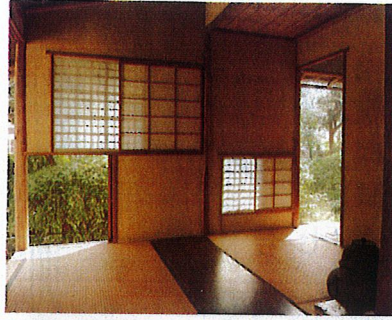
伝える、
伝わる。



榎木館の茶室「撫松庵」 おしゅうあん

榎木館(旧井元邸)は「白壁・主税・榎木町並み保存地区」内で唯一、名古屋市の「有形文化財」に指定されている。館内の庭園西端にある茶室(茶席)を建てたのは初代井元為三郎翁だが、二代松蔵翁の茶号の「撫松」から「撫松庵」と呼ばれている。

昭和八年(1933)の井元家の建築図面には記載がなく、同十三年、庭園で茶会を開かれており、この間に建てられたと考えられている。茶室の調査では移築の痕跡が希薄として、新築と推測されたが、井元家では京都より幕末に建てられた茶室を移築したと伝えられている。茶室の一部を京都から持ってきたのかも知れない。

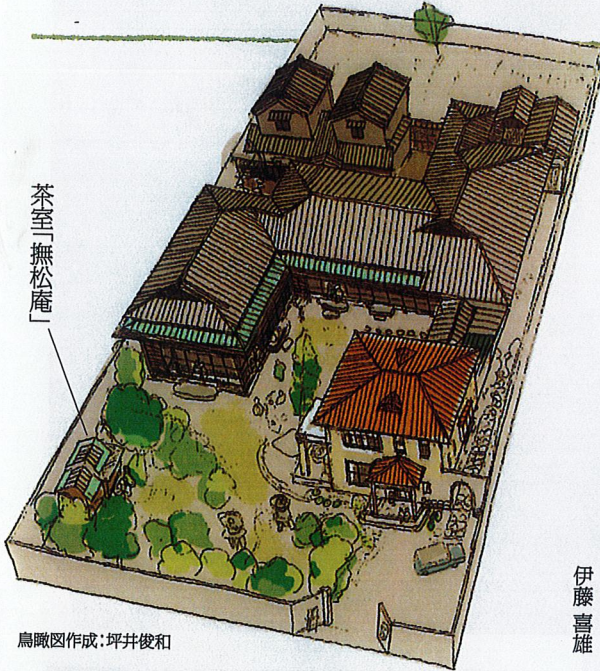


この小間茶席(二畳台目・三畳中板席)は丸畳(一畳)の点前座、台目畳(丸畳の約3/4)二畳と中板

の客座、半畳床で構成され、台目畳二畳の水屋を伴う。市内では無料で自由に見学出来、誰もが気軽に使える(要予約・有料)市有形文化財の茶室は撫松庵だけではないか。

中板は千利休の孫、千元伯宗旦(わび宗旦)が創始したと言われ、千家中興の祖、表千家七代如心斎天然が二畳中板席を好んだ。

「茶道茶席」に「中板大徳寺の行者山田氏に元伯好の中板の座有是中板の始地。二畳中板巾一尺四寸如心斎好一畳半中板一翁好(後略)」と記す。



一翁宗守は宗旦の次男で、三千家のひとつ武者小路千家の初代。中板は利休の小間茶席(四畳半まで)の形を崩さず、僅かだが広さを確保して、点前座と客座との緩衝帯、道具を置く場所として機能した。

水屋の円形下地窓や挟み敷居の欄干、貴人口、茶道口、雲雀台、半畳床、赤松丸太の床柱、突き上げ窓、向切の入炉など見るべき所は多く、水屋の天袋の引手と母屋の書院座敷の書院地袋の引手に竹節を使っているのは、榎木館和館の書院座敷から見える茶室を意識したのか。茶室で抹茶を戴きながら、下地窓から日本庭園を隔て、異文化のアメリカンスパニッシュの洋館を眺める景色は、それまでの茶室には無かった趣きだ。

常に海外を見据えアメリカや南洋との陶磁器輸出貿易で大成した井元為三郎ならではの、和洋融合の趣向なのだろう。

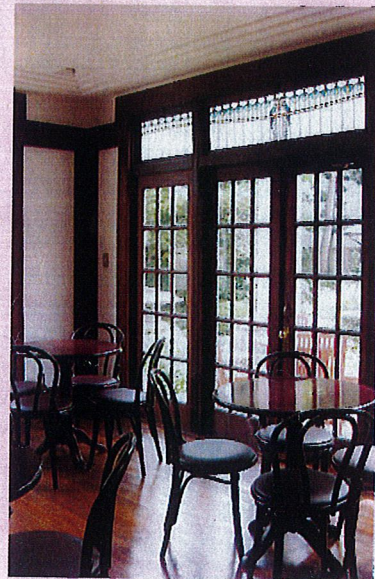
NPO法人榎木倶楽部理事長

伊藤喜雄

茶室「撫松庵」

鳥瞰図作成:坪井俊和

榎木館カフェ



フェアビーンズコーヒー文化のみち珈琲館

「榎木館カフェ」

榎木館の洋館一階(旧心接室)に、すてきなカフェが期間限定でオープンしました。(※5月末まで)

大正末期当時の美しいステンドグラスを眺めながらフェアビーンズコーヒーの香り高いドリップコーヒーやエスプレッソドリンク、ランチメニューや美味しいスイーツなどをお楽しみいただけます。

(※カフェのみをご利用の場合は入館料は必要ありません)

定休日:月曜日(祝日の場合は翌平日)

TEL 070-6412-3279



文化のみち榎木館では、大人から子供まで楽しめる様々な催し物を開催して、皆さまのお越しをお待ち致しております。昭和初期の「歴史・文化」に触れ、そこから新しい「文化」を発信する。榎木館がこれまでたどってきた「歴史」を継承しつつ、私たちの手で新たな「歴史」をつくる。それが、「文化のみち榎木館」のめざすところです。

大人から子供に

榎木館では毎月第2日曜日に絵本の読み聞かせをおこなっています。約1時間のあいだに絵本読み聞かせや紙芝居、わらべうたや手遊びなど表現豊かに繰り広げられる絵本の世界を楽しみ事ができます。担当するのは、平成24年9月、榎木館絵本展での読み聞かせをきっかけに結成された、「こやぎの会」。代表を務める八木さんは、「絵本の世界を通じて、年齢に関係なくあらゆる世代に楽しんでほしい。大人が久々に読むことで、子どもの時の気持ちを思い出したり、お母さんと子どもの大切なコミュニケーションツールとして



伝える、
伝わる。

の役割を担う絵本は、描かれている内容が育児のヒントになるなど、得る事も多いので親子で是非楽しんでほしいですね」と語ります。

榎木館絵本読み聞かせ

開催日時：毎月第2日曜日
午前10時30分（約1時間）

入場無料（要入館料 大人
200円・中学生以下は無料）

開催場所：文化のみち榎木館内

季節の茶会がはじまります



裏千家 北尾社中（北尾宗由さん）による、茶会を年4回（予定）、榎木館の庭園内の茶室 無松庵（表紙写真）にて催します。四季折々に咲く花々に美しく変化する庭を眺めながら、季節のお菓子とともに一服の抹茶をお楽しみいただけます。

【無松庵茶会】

開催日時：午前11時より

春・夏・秋・冬（詳しい日程は4面「文化のみち榎木館」催し物暦をご参照ください）

呈茶料：300円（先着30名様）

（要入館料 大人200円）

開催場所：文化のみち榎木館

茶室 無松庵

【定期観覧券のご案内】

ご購入いただいたその日から1年間有効の定期観覧券が大変お得です。あらゆるイベントに是非ご利用ください。

一般800円、敬老（※）200円

（※名古屋市内在住の高齢者（65歳以上）で

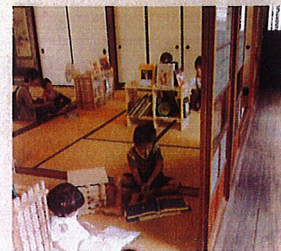
敬老手帳ご持参の方）

平成24年度催し物暦（9月～3月）

9/5～9/17
家原美術館



9/25～10/8
◆榎木館で楽しむ絵本の世界



10/13～10/21

◆伊勢型紙で彫る
東海の祭り展



12/8～12/16

◆都市を映す家・
榎木館アート展



1/22～2/3

◆大日本銭湯展



2/23

◆榎木館ひな祭り
お琴で楽しい会！



文化のみち榎木館では、館主催イベントをはじめ、貸室利用を年間通しておこなっています。
当館では和室・洋室・茶室・蔵・庭をお貸しします。詳しくは下記の電話番号・ファックス番号へお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。